作词：藤本記子

作曲：藤本記子

おぼろ月　薄衣(うすぎぬ)を解いて(脱いで)

月色朦胧 解下薄衫（褪去衣裳）

祝宴の始まり告げる

昭告贺宴的开始

(豪華絢爛に　万雷喝采を)

（豪华绚烂 喝彩如雷）

唇は　薄紅まとって(笑んで)

一双朱唇 抹上胭红（嫣然展笑）

言の葉と戯る

与诗词歌赋游戏

(今宵　心果てるまで)

（今宵 纵情交心至尽）

花色めき　匂えども散りぬるを

繁花艳丽 馨香四溢终散落

与えられし定め　袂に忍ばせ

将天赐的定数 置于袖兜中

踊りましょ　ちん・とん・しゃん

挥袖而舞 抚弦・拨线・奏雅颂

琴の音が逸りだす

琴声纷飞遏行云

百花繚乱に扇(せん)が舞う　ヒラヒラと

折扇于百花缭乱间曼舞 翩跹飘扬

常ならぬこの生命　たわわに　咲かせて

为此无常的生涯 使之结出 累累硕果

一途全を尽くし　生きるのが　雅事(みやびごと)

穷其一生而尽其志 如此人生 实为雅事

来世(いつか)を願うより　旬(とき)は今

与其希冀来世 不如珍惜当下

可憐に　いっそ　散って本望

宁可凄美凋逝 忠其夙愿

夢幻　飾って　月下堂々

点缀 浮生若梦 于月下凛然

月見鳥　静寂(しじま)を払って(さらって)

望月之鸟 拂去寂静（一扫而空）

祝宴を麗らに染める

为贺宴染上爽朗

(桜華爛漫に　上々感嘆を)

（樱花烂漫 万分感叹）

結い髪は　香りを放って(撒いて)

盘束秀发 芬芳馥郁（馨香四溢）

闌(たけなわ)へと誘う

邀君嬉戏至尽兴

(どうぞ　心を預けて)

（还请 释负交心与我）

三つの影が　集いしは夢舞台

三道身影 相聚即梦幻舞台

結びあえた縁(えにし)に　歓び重ねて

为天作之缘 共享其喜悦

唄いましょ　とん・てん・しゃん

以歌欢庆 拨线・弹弦・奏雅颂

風車回りだす

风车随乐转不息

百花繚乱に風が啼(な)く　ヒュルリラと

清风于百花缭乱间莺啼 窸窸窣窣

目に映るこの姿　綺麗で　いさせて

愿眼前此等姿容 不失美丽 永驻世间

目下全をかけて　生きるのが　雅事(みやびごと)

倾尽眼下而终其志 如此人生 实为雅事

刹那を悔やむより　旬(とき)は今

与其后悔刹那 不如珍惜当下

互いに　哀を　背負って今生

彼此分担哀痛 这般今生

願い　契って　月下堂々

许诺 立下誓言 于月下凛然

舞い踊れや　ちん・とん・しゃん

翩然起舞 抚弦・拨线・奏雅颂

(舞い踊れや　ちん・とん・しゃん)

（翩然起舞 抚弦・拨线・奏雅颂）

さぁ唄えや　とん・てん・しゃん

齐声歌唱 拨线・弹弦・奏雅颂

(さぁ唄えや　とん・てん・しゃん)

（齐声歌唱 拨线・弹弦・奏雅颂）

舞い踊れや　ちん・とん・しゃん

翩然起舞 抚弦・拨线・奏雅颂

(舞い踊れや　ちん・とん・しゃん)

（翩然起舞 抚弦・拨线・奏雅颂）

ひふみ夜に狂い咲く

一二三夜里盛放不羁

百花繚乱に扇(せん)が舞う　ヒラヒラと

羽扇于百花缭乱间曼舞 翩跹飘扬

常ならぬこの生命　たわわに　咲かせて

为此无常的生涯 使之结出 累累硕果

一途全を尽くし　生きるのが　雅事(みやびごと)

穷其一生而尽其志 如此人生 实为雅事

来世(いつか)を願うより　旬(とき)は今

与其希冀来世 孰若吝惜当下

可憐に　いっそ　散って本望

宁可凄美凋逝 忠其夙愿

夢幻　飾って　月下堂々

点缀 浮生若梦 于月下凛然

月明かり　遍く照らして

月明千里 当空洒清辉

ひふみ夜に　歌声灯る

一二三夜 歌声亮星煜

月明かり　三つ影揺らして

月明千里 三影随光舞

ひふみ夜に　歌声響く

一二三夜 歌声飘四方